

NO. 58

H4.4.1
一発行一〒869-12
熊本県菊池郡
大津町森54-2
社会福祉法人
三気の会
三気の里
TEL096
293-8100

アンケート

理事長 田中 稔

熊本県自閉症児者親の会が結成されてから20周年になります。これを機に記念誌を発刊する事になりました。それに伴い、県下で初めて自閉症の診断を受けた子供達も成人を迎えており、年長自閉症者実態調査をアンケートの形で行いました。恐らく私共の持っている資料が県下で自閉症児者に関する物としては一番詳しいと思えます。困難な子育てをしながら何の報酬もないのに、黙々と会の為に仕事を続けて頂いた役員の方々のお陰です。

対象児者の70%の方々から返事を頂き、この数字はこの種のアンケートとしては驚異的な物です。保護者の意識、関心の高の表れ

です。

アンケートと共に多くのメッセージやお手紙を頂きました。

※成長に伴って自閉的障害が薄れ、高等学校へも行ける様になりました。という嬉しそうな内容と他の子供の現況や将来を気遣っておられる手紙。

※未だに子供が自閉症である事を信じたくない、知られたくないという手紙。

※何年も前に事故で子供を亡くしておられ、アンケートを見て子供の事を思い出していますという手紙。

※名前の似た方の所へ誤って配達されて、何だこれはという電話。
※名前だけしか書いてなく、意図が分からないメッセージ。
そして、何よりも多かったの...

来への不安と専門的な処遇への期待について書かれた親心溢れる手紙でした。

アンケートを通して見えてくるのは、大きくなった子供達の実態のいくつかでしかありません。むしろ子供と共に努力し、苦悩し、喜び悲しむ親たちの生き方、考え方、人生への姿勢こそが見える様に思います。中途半端なかかわりで、自閉症の専門家の様な顔をしている者を許さない厳しい療育史を一人一人の親が持つておられるのです。



5周年記念

開園園日記 今心 敬啓

4月12日、式典とイベントを盛りだくさん用意しております。どうぞ三気の里に遊びにいらして下さい。

療育シリーズ

ある短期入所者

園長 土井尚典

短期入所と言うのは、家庭で一時的に療育ができなくなった時に一時的にお預かりする事業です。保護者の病氣、法事、出産、引越、旅行などが該当します。

昨年の10月に15才の男子の自閉症児が短期入所で6日間入園しました。本児は簡単な話し掛けには言葉で答えることができ、身辺の自立は入浴も含めてチェックが必須なもの、比較的自立していました。問題行動としては興奮し易く、噛みつき、引つ掻き、シャワー、手洗いを頻繁にする、他人のお尻の匂いを嗅ぐなどが述べられています。

本園の面接では落ち着きがない、指示を聞いていない、聞いても従わない、持続力が殆ど無い特徴を示していました。物の名前や物事の理解や状況の把握は良く、指導

が楽しみな能力をもっていました。しかし、マイペースで、やりたいように生活して来たのか指示は全く通りませんでした。方針は園の生活のリズムに慣れるでした。

来園してすぐトイレに行き、オシッコをするとすぐに素っ裸になり水道の水でシャワーを浴びてしまいました。お母さんに下着をもつて来て下さいと言うと「下着はありません。生まれてから一度もパンツをはいたことがありません。あの子がパンツをはいたら奇跡です。」と言われました。しかし、お母さんに急いで下着を買って来て貰いました。そこで、三気の里の「ねかせ」法を用いて指導にかかりました。下着はその日の内に抵抗しながらも履くようになりました。翌日からは指示に従って三気の里の生活のリズムに乗れるようになりました。

素質として理解力があるので、本人にとっては自分流のやり方との戦いであったと思います。自分

流のやり方を壊すことは、悔しくて仕方がなかったと思います。しかし、彼は自分に克つことが一番楽になるとわかりかけたと思います。両親が迎えに来られたときに、他の園生と一緒に作業をしていたので非常に驚かれました。

現在は自宅ではパンツを履いているそうです。しかし、手を洗う行動が以前よりひどいとおっしゃっていました。学校では新しいことに取り組むとき混乱がひどいということでした。手元にいないのでさびしいかぎりですが、もっている素質一杯に成長することを祈るばかりです。ガンバレー



由布子のひな祭り

藤本栄之助

由布子は二番目の女の子でしたから、ひな祭りにはおねえちゃんと一緒に友達をいっぱい呼んでお祝いをしていました。由布子の大好きな「のり子ちゃん」人形も必ずひな壇に飾り、ひな祭りの歌を歌って喜び合いました。

大きくなってお嫁に行くのが遅れるといけないと言って、ひな祭りが終わると急いで道具をしまっていました。それが由布子はとても不満で淋しそうでした。

お嫁なんかに行かなくてもいいから、いつまでもひな人形と遊ばせてあげれば良かったと、今でも由布子に済まない気持ちでひな祭りを迎えている我家です。

古来日本人は一瞬の美しさを歌にし詩に表して、世界に比類のない日本独特の文化を造りだしてきました。冬枯れの残る野や山に、太陽の輝きが増して行く早春の移ろいの中で、ひな祭りは短も美

しい思い出を残して、アツと言う間に過ぎ去ってしまえますが、由布子の心の中にはひな祭りの歌の哀しいメロディーと共に、友達に祝福された日々のがいつまでも残っていることでしょう。

春を待ちつくした大自然の色あいとして、緑と赤と白に飾られたひな壇の前で、友達が歌ってくれたわらべうた「由布子ちゃんほしいよ花いちもんめ」のかすかな歌声が、どこからか聞こえてくるようなこの頃です。



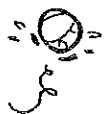
体育実技研修

木下昭二

3月9日、県立体育館において精神薄弱施設職員体育実技研修冬季大会が行われました。我が三

の里チームはミニバレーチーム、バドミントン3チームと昨年よりはちょっと規模は小さくなったものの、今回もいつも通り所狭しと走り回り、目立ち度では相変わらずのNO1だったのではないかと思えます。

本番数日前にミニバレーの監督兼エースが作業中に怪我をしてしまい今一つ実力を発揮できなかったのが残念でしたが、その分は園生の皆の大きな声援に包まれてハッスルプレーが出来ました。バドミントンの方は、コツコツと練習していた成果が試合に表れてくるようになってきたので来年が又、楽しみになってきました。最後に帰園を遅らせていただいた父兄の方々、朝食の準備が大変だった厨房の方々、応援してくれた園生、引率職員、選手の皆さん、おつかれさまでした。

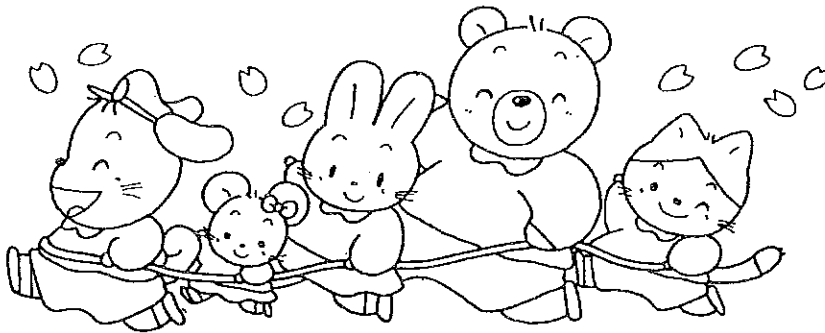


3班 たくましくなっただね！

新3班になって、もうすぐ一年が経とうとしています。新顔だった真一郎さんと武ちゃんも、山作業・丸太運び・木の皮むき・ペーパーがけ等しっかり頑張っているのので日に日に上手になってきています。この二人は、ずっと前からいるように感じてしまいます。

3班の中で、最近特に頑張っているのが一章さんと順ちゃんです。一章さんは、大きな丸太にロープをかけて、そのロープを肩にかけて運んでいます（肩がちぎれてしまう…と思う程重いんですよ）。順ちゃんはわりと小さめの丸太ですが（でも、重いんですよ）、一人で持ちあげて運べるようになり、また、大きな丸太を二人で協力して運ぶ時も頑張れるようになりました。丸太運びの作業を始めて3班12名全員に、一人が端っこを持つとほかの一人が反対の方を持つという協力する姿勢も出来てきました。ますますたくましくなっていくみんなと職員。「か弱い」と言われていた私も、今では「たくましくなっただねー」と言われています。もっともっとたくましくなるためにみんなで頑張ります！

今村



4班 「春 - - - 出発の時」

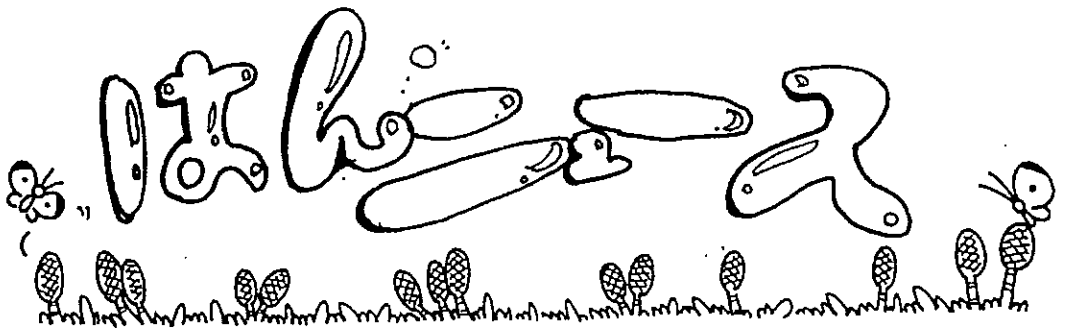
春とは、いろんな意味での出発の季節のような気がしますが、たんぽぽご愛読の方の中にも新たな出発を迎えられた人も多いことなのでしょうね。今回4班でも2名、中作業から外作業に移動することになりましたので紹介します。

松島さんは、体力面で心配だったのですが、最近は体の調子も良くなり、仕事も意欲的に頑張ってくれるので外作業に移ることになりました。

高木くんは、これまで中作業の中で、先頭に立って頑張ってくれていました。そこで職員で話し合い、外作業へ行くには生活の流れが異なるという問題点はあるものの高木くんにとっても、また自立を目指す人達の為にも思い切って出してみようという事になりました。

生活が変わるというのは、二人にとっては勿論これから新たに出発する人達にとっても大変な事だと思います。しかし、その分喜びも大きいはず。頑張ってくださいね。

橋本



1 班 草取りよーいドン

3月のある日の午後、1班の作業は、久しぶりの畑作業。畑の中もポッポッと草が繁っています。さっそく作業開始、「ヨーイドン！」かっちゃん・あべくん・ひろちゃんは、この日研修に来られていたためぶき園の小野さんと草とりです。優しいお姉さんと一緒にコツコツ頑張っています。忠夫くんは、アスパラガスの畑をヒョイヒョイと草をとって歩きます。とても足どりが軽やかです。ここ一番熱心に草をとっているのは、宣陽さん。いつものことながらよく頑張ってくれています。久美ちゃん・憲ちゃんは、後半の土運びを汗を流しながら頑張ります。なかでも一等光っていたのは、近頃だんだんとたくましくなった聡士くん。今日はスコップで土を一輪車に入れてくれました。いつもは畑の草取りを一手に引き受けてくれる辰治さんは外出していて参加できませんでしたが、小野さんとのかわりには、いつまでもみんなの心のな中に残ることでしょう。又、遊びに来て下さいね。

伊石

2 班 「がんばったね！！

また、がんばろうね！！」

平成三年度も、とうとう終わろうとしています。二班では、えいちゃん・雄一くん・健ちゃん・泰ちゃん・路ちゃんの新メンバーが、大活躍した一年でした。それに負けじと、晃子ちゃん・文ちゃん・浩ちゃん・英くん・俊ちゃんも一生懸命がんばってくれました。

本年度二班で一番よかったなーと思うことは、父兄と一緒に大分に一泊二日のレクリエーションができたことです。たくさん父兄が参加して下さったことも嬉しいことでしたし、みんながおりこうさんで、なによりも二日間を楽しんでくれたことが、嬉しいことでした。

このレクリエーションが終わってから、二班の職員一同、大はりきりで、何でもできないと思ってやらないより、何でもできるぞ!!と思って“やってみる”ということをもみんなから学びました。

来年度は、もっとでっかいことをやろうと思っています。みんな一緒にがんばろうね。

高橋

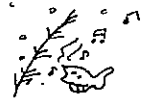
さよなら

武藤悦子

三月いっぱい、宇城学園、八代学園に移ることになった辰治さんとはじめ君。共に1班で頑張ってくれた2人です。はじめ君は三気の里に来て5年、辰治さんは四年、いろいろな事があつたね。はじめ君は、体も丈夫で、病気になることも殆どなかったね。作業も熱心に頑張ってくれました。辰治さんは、いつも気持ちのよい返事を返してくれてみんなの人気者でした。新しい施設に行っても元気で頑張っていて欲しいと思います。たまには、三気の里のことも思い出してね。私達も寂しくなるけど、2人の笑顔を忘れずに、三気の里から応援しています。友達をたくさんつくってみんなから、かわいがられるようになってください。頑張れ！辰治さん、はじめ君。



研修・集団音楽療法



三池真奈美

去る3月1日、長崎県諫早市で行われた『集団音楽療法』に主任を含め3人で参加をしました。講師は、石川磁場の会の宮本啓子先生と長崎県立盲学校の田尻清信先生。どちらの研修とも楽器（鈴、タンバリン、木琴、カスタネット）シャボン玉、メロディーボールを使った楽しい内容でした。ピアノやテープに合わせて体を早く動かしたり、ゆっくり動かしたり、ボディイメージの為の動作をしたりしました。実際に生徒と先生になつてやる場面では、最初照れもあつたのですが、研修の終わりの方では全体が生き生きとした雰囲気になりました。大変充実した一日でした。（それにしても前日の夜、大雨、落雷、エレベーターの中の停電：長崎の夜は怖かった…）

食食堂営業中

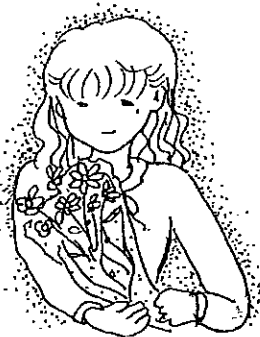
最近、おやつの方が気になつてしかたがないK君。昼食の片付けも終わり、3時のおやつ準備をしていると、どこからともなく「せんべい持っていきよ！」とK君の声が聞こえてくる。どうも、午後の作業を始めたくて、それにはおやつを作業場へ持って行くというのがまず最近の仕事であるようだ。以前は、K君の思いがよく解らず、「まだまだよ。」と言つて渡してあげてなかつた。今は、厨房の職員も、K君の思いが解り、「おやつ持って行く。」と言つて来たときは、班の指導員に了解を得るうちにK君に言っている。すると、班の指導員を連れてきたり、「おやつを持たせて下さい。」と書いた手紙を持ってきたりするようになつた。なんでもないやりとりになるけどK君と厨房にとつては、楽しいコミュニケーションのひとつになつてます。

田辺

退職

伊石美鈴

初めて三気の里を訪れた日から4年の歳月が流れ、今月一杯で三気の里を退職することになりました。はじめは、自閉症という言葉葉に興味を持ったのがきっかけだったので、会う度に、色々な表情を見せてくれる三気の里のみんなの人柄に心ひかれ、ボランティアから指導員になりました。指導員としての私は、いたらない所ばかりで、周りのみなさん、ご父兄のみなさんにご迷惑をかけることも多かったと思いますが、これからも何かの形で三気の里に関わっていただけらいいなと思っています。本当にお世話になりました。ありがとうございました。



退職

3月いっぱい、米村さんが退職することになりました。短い間でしたが、みんなと一緒に作業を頑張ったり、楽しく遊んだ事を忘れないで下さいね。また、三気の里に遊びに来て下さい。みんな待っています。

ぼらんていあ通信

先月27日の時の話ですが、以前（学生時代）三気の里にてにわとり小屋を作られたり、レクや行事のお手伝いをせっせとやっておられた方が、ひよっこりと三気の里に顔を見せられました。跳び上がって喜んだのは平川指導員で（前年度のボランティア係です）強引に昼食を勧めて食べてもらったり、昔のボランティアの話に花を咲かせたりしていました。

その方は、いつものようにという感じで軽く4班の作業の“土崩し”に入って行かれましたが、

ハードな4班“土崩し”の事です。きつと次の日、足腰がこわれ動くのに不自由された事だと推察されます。鶴田さんこれに懲りずにまた遊びに来て下さいね。

ひよっこりと言えば、つい数日前の3月19日に本当にひよっこりと歯科衛生士の森さんが「全快しました。とやって来られました。（それも私がお会いしたのは食堂でした。）面白い事で、森さんの顔を見ると口を開ける（歯を見せる）園生がいるんですね。食事中に口を開けるものですから、森さんや皆の笑いを集めていました。その後も皆の顔をうねうねと見て回って森さんは帰って行かれました。

ともかく、いつもと変わらぬ元気で明るくってにぎやかな森さんの笑顔を見て妙に安心して、ホッと胸をなでおろす気分でした。皆様お体には本当にお気をつけて下さい。ご念じ致しております。

坂本

4月の行事予定

1(水)	17(金)
2(木)	18(土) シーツ交換
3(金)	19(日)
4(土) 療育相談日	シーツ交換 20(月)
5(日)	21(火)
6(月)	22(水)
7(火)	23(木) 4班レク
8(水)	24(金) 大掃除
9(木) 3班レク	25(土) 療育相談日 園帰宅バス運行
10(金)	26(日)
11(土)	27(月)
12(日) 開園記念祭	帰宅日 28(火)
13(月)	29(水) ㊦ ゴールデンウィーク
14(火)	30(木) ↓
15(水)	
16(木) 1班レク	2班レク



㊦ 依次坂坂△云だより

平成3年度もはや締めくくりとなりました。一年間ずっと陰ながら応援下さった皆様、ありがとうございます。ございました。

さて、来年度も三気の里にご支援下さいますよう後援会をご案内申しあげます。

㊦ 新しく入会される皆様へ

ご連絡下さい。案内をお送りします。
(多田まで)

㊦ 継続会員の皆様へ

別添の郵便振替でお振り込み下さい。(一口三千元以上) 引き続き「たんぽぽ」をお送りします。

編集後記

三気の里の名物園長が、来る4月20日より3カ月間、カナダを中心に海外研修に出掛けることになりました。少々寂しいですが、いつてらしゃい。

今回で、3年間たんぽぽ編集に携わった清田、坂本が卒業します。お疲れ様でした。